

福浦・幸浦地区及び本牧地区の護岸の復旧について ～復旧方針をとりまとめました～

令和元年台風15号における高波により被災した護岸の復旧について、本日、開催した第3回横浜港護岸復旧工法検討会で議論し、護岸復旧方針をとりまとめたため、お知らせします。詳細は次頁以降をご覧ください。

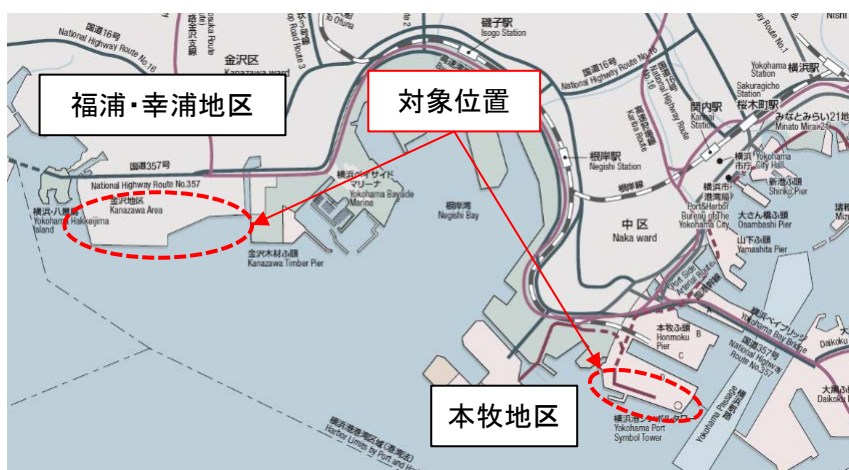
<参考：第3回検討会の概要>

日時：令和元年12月19日（木）15時30分～17時

場所：産業貿易センタービル6階 横浜市港湾局第一会議室

委員：別紙のとおり

- 内容：1 本日の検討対象
2 潮位・高波の考え方
3 福浦・幸浦地区の復旧方針
4 本牧地区の復旧方針



その他：検討会の資料については、横浜市のホームページに掲載しています。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/yokohamako/kkihon/kikikanri/gogankentoukai3.html>

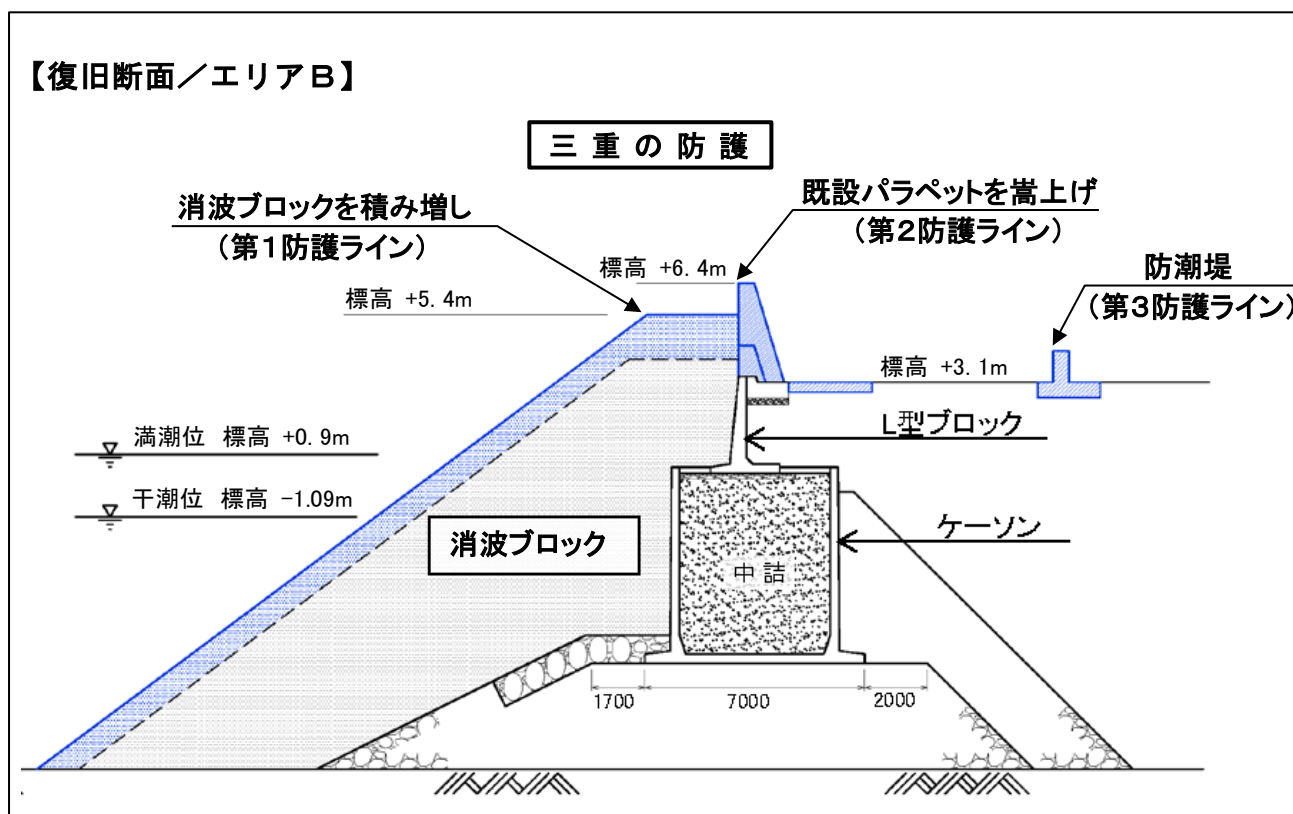
お問合せ先		
港湾局政策調整課長	成田 公誠	Tel 045-671-2877

2 福浦・幸浦地区の復旧方針

(1) 対象施設



(2) 復旧断面

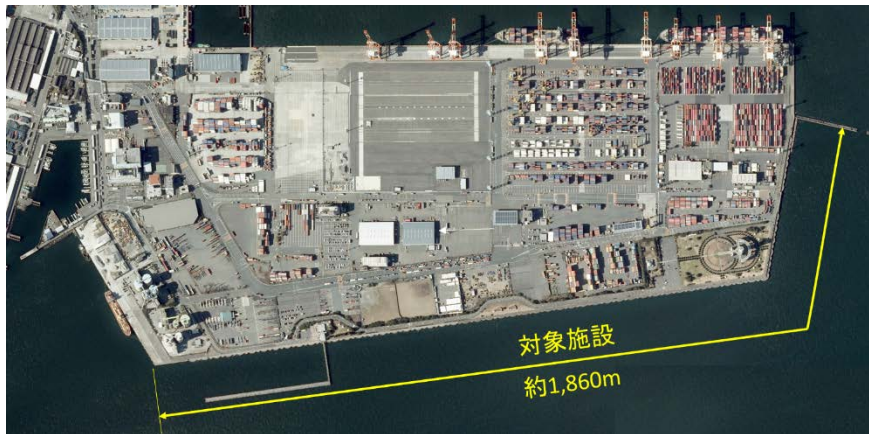


●復旧断面（エリアB）の主な特徴等

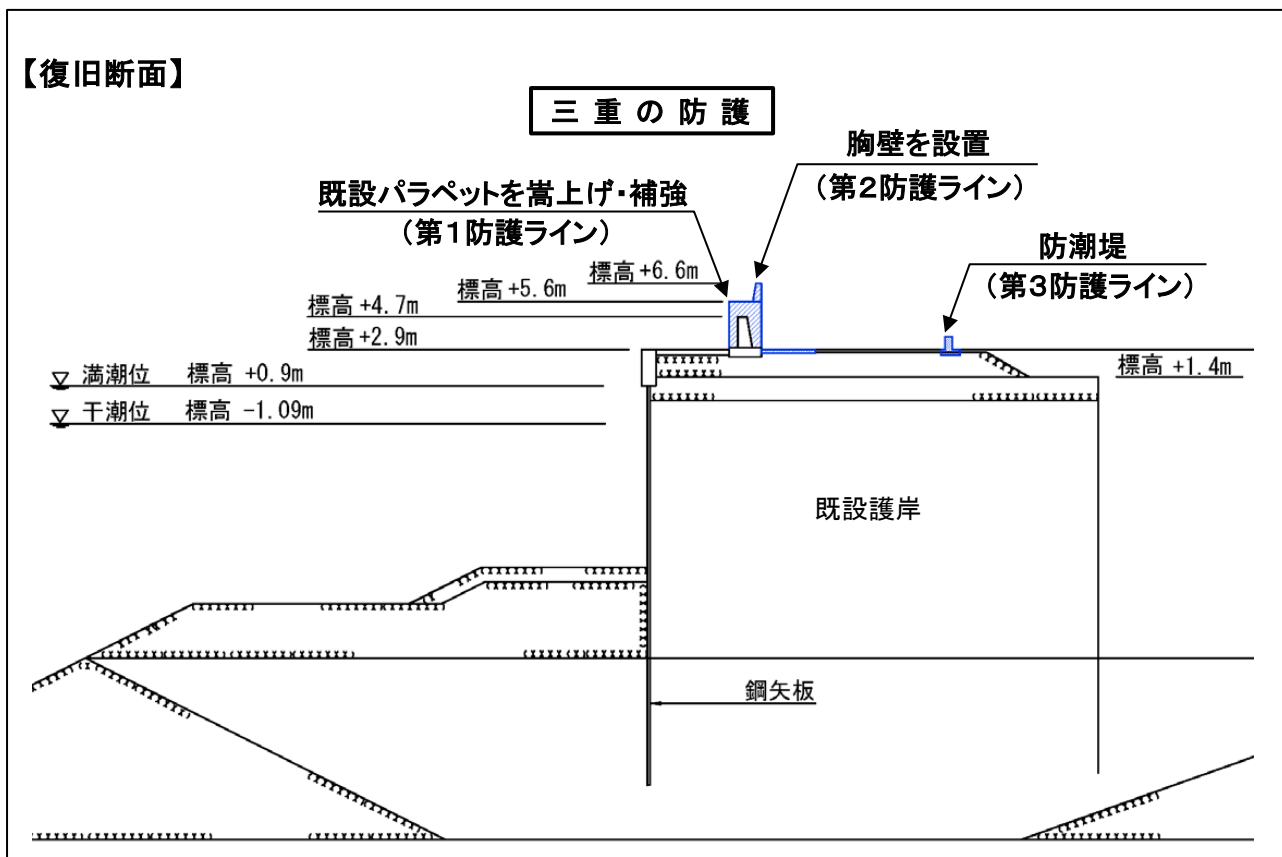
- ・ 既設護岸前面に消波ブロックを設置または積み増して、考え得る最大級の高波を防護します。 (第1防護ライン)
- ・ 既設護岸のパラペットを嵩上げし、波しぶきを防護し排水します。(第2防護ライン)
- ・ 台風19号による浸水を食い止めた実績を踏まえ、後背地に防潮堤を設置します。(第3防護ライン)
- ・ 令和2年の台風シーズン前までに消波ブロック設置、既設パラペットの嵩上げ等を概成できるよう取り組みます。

3 本牧地区の復旧方針

(1) 対象施設



(2) 復旧断面



●復旧断面の主な特徴等

- ・ 既設護岸のパラペットを嵩上・補強し、考え得る最大級の高波を防護します。
(第1防護ライン)
- ・ 嵩上げしたパラペット上に胸壁を設置し、波しぶきを防護し排水します。
(第2防護ライン)
- ・ 台風19号による浸水を食い止めた実績を踏まえ、後背地に防潮堤を設置します。
(第3防護ライン)
- ・ 令和2年の台風シーズン前までに、既設パラペットの嵩上げ等を概成できるよう取り組みます。

「横浜港護岸復旧工法検討会」

委員構成

(敬称略)

	氏名	所属
委員長	鈴木 崇之	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 准教授
委員	鈴木 高二朗	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 海洋研究領域 耐波研究グループ長
〃	加藤 絵万	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 構造研究領域 構造研究グループ長
〃	本多 和彦	国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部 沿岸防災研究室 主任研究官
〃	浅見 尚史	国土交通省 港湾局 海岸・防災課 海岸・防災企画官
〃	森 信哉	国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部長
〃	野口 孝俊	国土交通省 関東地方整備局 横浜港湾空港技術調査事務所長
〃	新保 康裕	横浜市 港湾局 政策調整部 担当部長
〃	河村 義秀	横浜市 港湾局 港湾管財部長
〃	厨川 研二	横浜市 港湾局 建設保全部長